

「蒲生岳」・「会津朝日岳」・「浅草岳」

只見ユネスコエコパークの山開き開催

6月、只見4名山のうち「蒲生岳」、「会津朝日岳」、「浅草岳」の山開きが行われ、それぞれ多くの登山者が只見町を訪れました。

蒲生岳の山開きでは、とがった山の姿から「会津のmatterホルン」と名付けた登山家・田部井淳子さんが昨年亡くなられたことを受け、開山式で黙とうがささげられ、田部井さんの夫、政信さんとともに追悼登山が行われました。



▲蒲生岳(6月4日)約150名参加



▲会津朝日岳(6月11日)約200名参加



▲浅草岳(6月25日)約300名参加

地域の魅力再発見!

春のウォーキングイベント開催

町内3地区で春のウォーキングイベントがそれぞれ開かれ、多くの方々が参加しました。

今回、只見地区は只見川沿いを歩き只見湖を望むコース、朝日地区は黒谷集落を散策し寺社など歴史を学ぶコース、明和地区は恵みの森で沢歩きをしながら自然を満喫するコースで行われ、参加者は新緑を楽しみ、地域の魅力を再発見しました。ゴール後にはとん汁が配られた他お楽しみ抽選会が催され、参加者はイベントを楽しんでいました。



▲只見地区「只見町民ハイキング(5月28日)」
(写真/青少年旅行村をスタートする皆さん)



▲朝日地区「さなぶり健康ウォーキング(6月4日)」
(写真/八所神社で歴史にふれる皆さん)



▲明和地区「明和ふるさとハイキング(6月11日)」
(写真/恵みの森で沢歩きをする皆さん)

ユネスコエコパーク関連事業

「自然首都・只見」学術調査研究 助成金事業の助成テーマ決定!

平成29年度「自然首都・只見」学術調査助成金事業は、只見町の自然環境や生物多様性、さらに歴史や民俗について、その価値を科学的に明らかにすることによって「自然首都・只見」ブランドの向上を目指すものです。今年度内に研究成果の発表会を開催し、研究者との交流を行う予定です。

今回は9件の応募がありましたが、審査の結果、下記の6件について助成を行うことが決定しました。



▲昨年度1月に実施した研究成果発表会

テーマ	助成研究者代表	所 属
ブナの葉は尾根と谷で異なるのか？ —局所スケールにおける樹木形質の変異—	後藤 亮仁	横浜国立大学
多雪地域におけるブナの個体間・ 個体内での展葉フェノロジー	西坂 志帆	横浜国立大学
只見地域の水生生物に関する分子系統地理学的研究	東城 幸治	信州大学
只見地域における森林植生の遷移系列・ 動態と攪乱様式	菊池 賢	希少種保全研究会
中期中新世布沢層の花粉と 葉化石から復元する只見の古植生	西田 治文	中央大学
ヒメサユリ野生集団の遺伝的多様性解析	山本 将	明治大学

この事業は只見町ブナセンターと連携して行われます。町内で只見町ブナセンターの腕章やステッカーを付けた研究者や車両を見かけましたら、本事業による調査研究ですので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

〈問合せ先:総合政策課 地域振興係 ☎82-5220〉

福島民報社のプロジェクト

瀧神社に町の花「コブシ」の苗木を植樹

6月2日、福島民報社の主催で県内59市町村をリレー形式で植樹する「ふるさと大好き59市町村応援プロジェクト」が行われ、町の花「コブシ」の苗木をJR只見駅近くの瀧神社に植樹しました。このプロジェクトは福島民報創刊125周年記念事業の一環で、平成30年に南相馬市で開かれる全国植樹祭との連携事業です。植樹式当日はあいにくの天候により「森林とのきずなづくり植樹リレー」のプレート引継ぎ式を只見保育所で行いました。長谷部多一只見区長や只見保育所の園児たちが見守る中、福島県を模ったプレートに木ピンが差し込まれ、そのプレートを菅家町長が受け取り、引継ぎ完了となりました。



▲参加した菅家町長、長谷部只見区長、只見保育所児童の皆さん

落語の魅力にふれる

みな川「落語会vol.2」開催!

6月10日、旅館みな川が主催する「みな川plus ONE落語会vol.2」が同旅館で開かれ、昼・夜の部あわせて約200名が来場しました。

落語会には、今回2回目の出演となる立川流真打「立川こしらさん」と、今回初出演となるお笑い番組でもお馴染みの月亭一門「月亭方正さん」が公演しました。昼の部では落語に対する思いなどを語ったトークセッション、夜の部では巧みな話術で人々を魅了する落語が披露され、会場は爆笑の渦に包まれ、落語の魅力に触れることができました。



▲落語について語るこしら師匠(左)、方正師匠(右)



▲来場者と交流を深めるこしら師匠と方正師匠

「チャリティーショー」



▲募金箱を手渡す角田初美さん(左)と受け取る菅家町長(右)

第5回頑張ろう東日本!

JR只見線応援チャリティーショー

6月18日、夢広場が主催する「歌と踊りのチャリティーショー」が季の郷湯ら里で開催され、昼の部・夜の部あわせ、約250名が来場しました。

このチャリティーショーは、JR只見線全線復旧を応援するために毎年埼玉県八潮市で行われているショーを、今回初めて只見町で開催しました。チャリティーショーでは、町民などが出演した歌と踊りの歌謡ショー(昼の部)と、演歌歌手の佐々木新一さんなどによるディナーショー(夜の部)が行われました。そして会場などで集められた只見線応援募金「36,462円」が、夢広場の角田初美さんから菅家町長に手渡されました。

只見中学生が各種目で大活躍!!

「全会津中体連総合体育大会」開催

6月13日、全会津中体連総合体育大会が会津地区の各会場で行われ、只見中学生が次のとおり好成績を収めました。この後、7月21～25日に開催される県大会での活躍が期待されます。

◆剣道	・男子団体	ベスト8
	・女子団体	3位 (県大会出場)
	・女子個人	1位 馬場菊(県大会出場)
		2位 馬場遊茶(県大会出場)
◆バレーボール		1位 (県大会出場)
◆卓球	・女子団体	3位 (県大会出場)
	・女子個人シングルス	3位 服部杏奈(県大会出場)
		3位 小林聖佳(県大会出場)



▲県大会での活躍を誓う只見中学生
(左から剣道部、バレー部、卓球部)

地域との交流を深める 桜の丘みらい「春祭り」開催

6月10日、小規模多機能居宅介護事業所の桜の丘みらいが主催する「春祭り」が原地区の同施設で開かれ、多くの方々が参加しました。祭りでは、コーラスはなみずきの美しい歌声や三つ葉会の華麗な踊り、只見高校生ボランティア部による力強いヨサコイが披露された他、焼きそばやフランクフルト、わたあめなどが振る舞われ、親子連れに人気を集めました。最後に行われたビンゴ大会では会場が盛り上がり、地域住民との交流が深められました。



▲春祭りでも美しい歌声を披露した「コーラスはなみずき」の皆さん

旬の山菜を堪能 「山の幸山菜まつり」開催

6月4日、塩沢区・十島区山菜まつり実行委員会が主催する「第21回山の幸山菜まつり」が塩沢農村公園で開かれ、町内外から約200名が来場しました。開会式で岩淵民男塩沢区長は「旬の山菜を堪能して欲しい」と挨拶し、会場ではわらび、ふぎ、うどなどの山菜や山菜のてんぷらそばの他、6年ぶりにアカハラの塩焼きが販売されました。また、山菜汁や地酒などの振る舞いも行われ、訪れた来場者は只見の旬の味を堪能していました。



▲多くの人で賑わった山菜まつりの会場

人材育成ダイヤモンドプラン8期生 オープン講座「小笠原流に学ぶ」

6月7日、人材育成ダイヤモンドプラン8期生のオープン講座「小笠原流に学ぶ」が開かれ、受講生や一般参加者多数が参加しました。

講座では、郷土料理研究家の平出美穂子先生を迎え、只見町に多く残る小笠原流の巻物をもとに、結婚式の料理を作る際のルールや礼儀作法などを学びました。平出先生は「これだけ多くの小笠原流の巻物が残る地域は珍しい。町の食文化を継承してほしい」と話されました。



▲江戸時代の料理作法「折形の礼法」などを参加者に伝える講師の平出先生

ジャズで町の音楽振興を図る 「ジャズナイトin只見」開催

6月21日、教育委員会主催の「ジャズナイトin只見」が季の郷湯ら里で開かれ、町内外から約100名が参加しました。イベントでは、プロアーティストの指導が受けられる吹奏楽器体験とジャズライブが行われ、プロの見事な演奏に来場者は魅了されました。また翌日、只見中学校でアーティストによる音楽授業が行われ、サプライズでジャズ演奏の校歌が披露され、生徒たちは音楽への興味を深めました。



▲来場者を魅了したプロアーティスト5名によるジャズライブ（ジャズナイトin只見）